



みなと

みなと 32号 2010年12月 1日

兵庫県声の図書赤十字奉仕団

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5

日本赤十字社兵庫県支部内

(Tel)078-241-9889 (fax)078-241-6990

代表者 淡路 忠義

編集者 松本 裕子

第二十回 交流会



11月23日(祝日)、前日の雨模様から一転して素晴らしいお天気、晴れ晴れとした雰囲気ではじめました。

ご出席いただいたリスナーの中には、久しぶりのご参加があったりしてお迎えする団員も又改めて密なる交流が出来たのではないかと思います。

予定通り12時から、総合司会は佐竹洋子(そよかぜ)さん、淡路委員長のあいさつに始まり、続いて東田雅俊事務局長からは日ごろの協力への感謝と今日の日の心温まる交流会が実りあるものになりますようにとのご挨拶を頂きました。リスナーの川口 栄子様が代表でこの日を楽しみにしていましたとご挨拶下さり、そのあと出席のリスナーさんのお名前を読み上げて、皆様元気に手を挙げてお返事頂いて和やかな滑り出しが出来ました。

お弁当は幕の内形式のお結び弁当、こまごまと仕切りが入って食べやすそう、おやつは風月堂の洋と和のお菓子取り合わせに蜜柑、13時10分までのお昼の一時を過ごしていただきました。

イベントは海外救援活動体験談を神戸赤十字病院看護師 岡田 亜紀さんに、地震で被災した「ハイチ」に派遣されての貴重なお話、まずハイチがどこにある国かも認識していなかった事や、貧しい国情でいまだに復旧がおもわしくないことなど興味深いお話でした。続いて「アンサンブルゆう」によるオカリナ演奏、癒される音色にしばらく浸り、音楽療法 ミュージック・アトリエ「エコー」の安元 邦夫さんのオルガンに合わせてリスナーさんとの懐かしい曲目の合唱で大いに盛り上がりました。

リスナーの歓談が約40分、あちらこちらに移動してリスナー同士や団員とも楽しくお話をされていました。お名残尽きない思いでしたが、「今日の日はさようなら」を全員で合唱し、最後に交流会委員長挨拶で締めくくり、又来年皆様と変わりなく再開できます事を祈りつつ、無事交流会は終わりました。(松本裕子)

第20回交流会を終えて

今年度交流会は、11月23日、天候にも恵まれ、リスナー60名、同行者40名、来賓8名（日赤支部、および写真、青少年奉仕団）、盲導犬1頭、団員82名とほぼ昨年と同規模のご参加を得て、盛大に開催することができました。

ご来賓の日赤兵庫県支部 東田雅俊事務局長様からは、10人余りでスタートした声の図書奉仕団が長年の努力で今日の姿まで発展したことに対する賛辞と今後の活動への励ましのお言葉を頂きました。

リスナー代表の川口英子様からは、声の図書の活動に対するお礼と、デイジー図書等今後さらに活動が広がっていくことを楽しみにしているとお言葉を頂きました。

「リスナー歓談」では、テーブル間の通路が狭く、リスナーさんが自由に行き来できないとか、団員の多くがテーブルに入っていけないといった問題がありましたが、リスナーさん同士、リスナーさんと団員の会話もそれなりに弾み、リスナーさん同士が50年ぶりに再会されたというハプニングもありました。歓談の中で話題になったことを、出来るだけみんなで共有していこうということで、3人の代表の方（団員）に全員の前で発表して頂きました。リスナーさんから頂いた貴重なご意見やご要望、それに会場のテーブル配置の問題等、今後の検討課題とさせていただきたいと思います。

イベントは、神戸赤十字病院 岡田亜紀看護師様の大震災後のハイチの厳しい環境の中での救援活動体験談、「アンサンブルゆう」の皆様の澄んだ音色のオカリナ演奏、ミュージック・アトリエ「エコー」の安元邦夫様の合唱と語りでやすらぎをとのコミュニティ音楽療法の実体験をと、それぞれ違った趣の演目を楽しんで頂きました。ただ、今年は演目を絞ったにもかかわらず、それでもそれぞれ時間が足りなかった感じで、これも来年へ向けての反省の一つとなりました。

8月に第1回交流会実行委員会を開いた時は、私自身不安でいっぱいでしたが、その後実行委員の皆様、団員の皆様のお力添え、ご尽力により無事に交流会を終えることができました。有難うございました。また、日赤兵庫県支部の方々には、交流会の企画段階から最後まで物心両面から多大のご支援ご指導を頂き誠に有難うございました。

交流会を終えて今、交流会の準備、実施を通じ、声の図書の中での相互交流やその絆が強まったのではないかと考えています。皆様ほんとうに有難うございました。

交流会実行委員長 青野義夫（あかりの会）

第二十回交流会会計報告

収 入		支 出	
日赤交流会助成金	250,000	弁当	162,400
会費 @500×180名	90,000	お茶（24本×10ケース）	20,664
リスナー 60名		お菓子・みかん	55,373
同行者 38名		チャーターバス 2台	
団員 82名		@10,000×4（往復）	40,000
		イベント出演者交通費	20,000
		その他	1,023
		振込手数料	140
計	340,000	計	299,600

残高	40,400
----	--------



支部創立 120 周年記念 兵庫県赤十字大会

支部創立 120 周年記念兵庫県赤十字大会が平成 22 年 11 月 8 日（月）に国際会議場ポートピアホール（神戸市中央区）で開催されました。本大会は、永年に亘り赤十字事業に対して多大なご支援ご協力をいただいている方々に感謝の意を表するために開催しており、このたびは日本赤十字社名誉副総裁秋篠宮妃殿下ご臨席のもと、日本赤十字社大塚副社長、井戸兵庫県支部長等が出席するとともに受章者及び赤十字奉仕団員など約 1,500 人が参加されました。

第 1 部（式典）では金色有功章、銀色有功章が受章者（団体）13 人に秋篠宮妃殿下から、社長感謝状が代表受章者（法人）19 人に大塚副社長から、社業功労者特別感謝状が井戸支部長から代表受章者（法人）5 人に手渡されました。また、平成 22 年度赤十字活動ポスターコンクール最優秀賞の表彰もおこなわれました。この大会では、銀色有功章を受章された役職功労の部、奉仕功労の部及び献血功労の部を代表して兵庫県声の図書赤十字奉仕団の門田真弓美さんに秋篠宮妃殿下から銀色有功章が手渡されました。（写真）兵庫県声の図書赤十字奉仕団では、金色有功章 4 人、銀色有功章 1 人、支部長感謝状（金色枠）7 人、支部長感謝状（銀色枠）11 人が受章されました。永年に亘る活動に衷心よりお礼申しあげます。そして実践活動報告では、青少年赤十字モデル校の西脇市立西脇小学校の 6 年生 2 人に発表していただきました。

第 2 部では、青少年赤十字加盟校で、平成 21 年度第 37 回マーチングバンド・バトントワリング全国大会において金賞を受賞された高砂市立鹿島中学校の吹奏楽部の演奏を楽しんでいただきました。吹奏楽部の演奏は大変素晴らしく、参会者の方々のアンコールを求める拍手が止まないほどでした。

本部委員長 淡路 忠義

平素は団員の皆様には、テープ作成・ガイドヘルプ・その他多方面にわたり活動いただきありがとうございます。今年は支部創立 120 周年記念兵庫県大会が開催され、団員 20 余名の方が受賞され、当声奉も社業功労者特別感謝状（奉仕功労）を頂戴しました。これを励みにさらにより良き活動を進めて参りたいと存じます。これからも皆様方のご協力をお願い申し上げます。

- この講習会は、既にデジジ図書を聞いている、或いはこれから聞こうとするリスナーさんのために、専用再生機プレクストークでの聴き方を学習して頂きたいと企画しました。私たちの発行CD「日赤声のアルバム」は、各図書独立した形で収められているので、各図書を選びながら聞いて頂く必要があり、そのタイトル移動の方法、その他一般的な聞き方にも習熟して頂くためでした。又、機種も数種あるので、それぞれの機種に応じ講習し、録音機能のあるプレクストークでの録音法なども説明しました。リスナーさんの熱心な学習意欲と、サポートメンバーの分かりやすい指導のもと、盛会の内に終わることができました。

- “オーディオキャプチャーを介したスタンドマイクでの録音”と“ヘッドホン一体型マイクでの録音”の2方法を研修しました。音質は前者の方がやや良いが、取扱が簡便なのは後者。周辺雑音については、前者は拾いやすく後者は拾いにくい…と一長一短でした。その後、オーディオキャプチャーの代替としてMDを介しての録音も可能と判明し、この音質も悪くないことが判りました。

★パソコン直録音をやってみようと思われる方はデイジー班メンバーに問い合わせして下さい！ テープ録音より難しくなく、読み直しや部分はめ込み、校正等、編集も簡単で自由自在に操作できます！！

録音方法、テープからの採音方法、編集法、機材の取り扱い等々、試行錯誤がまだまだ続きますが、メンバー一同、前向きに取り組んでいきますので、より良い図書制作のために応援のほど、どうぞよろしくお願いします<m()m>

直田 花子

単行図書検討会

単行図書検討会では、毎月、録音希望図書を単行通信に載せ、録音者を募っています。とくに、リスナーさんからのリクエスト図書は、できるだけご希望に添いたいと思っていますが、録音してくださる方が少なく限られているのが現状です。10月の運営委員会で、単行図書を録音してくださる方を募集いたしました。残念ながら、今回は応募者はおられませんでした。これからも募集していきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

かねてより提案していました「読み方ガイドラインの会（仮称）」が11月にスタートいたしました。メンバーは、本部から1名、各グループから6名、単行図書検討会から1名です。デジ化により、各グループのテープを一枚のCDに収めるようになると、各グループの考え方や取り組み方の違いが指摘されるようになりました。運営委員会で、さまざまな意見交換があり、時間をかけて、声奉としての読み方のある程度の統一化を考えていくことになりました。第1回の会合では、まず現状把握が必要ではないか等、熱心な話し合いが行われました。今後、月一回会合を持ち、声奉の朗読（音訳）を見直し、提案していくことを申し合わせました。

もう一つ提案していました「録音テープ制作マニュアル」の見直しは、9月から単行図書検討会のメンバーで行っています。2009年2月に「制作テープを考える会」が作成してくださったのですが、デジ化が進んでいく中、加筆の必要を感じたことと、原本奥付の部分をもう少し詳しくしたいと思ったからです。今年中の完成を目指しています。

池内早苗



点字班

活動について（10月～12月の主な内容を紹介します）

①学校講習

年々参加して下さる学校が増えています

今年度も新しい学校が数校あります。メンバーは元気な子どもたちと一緒に学習できることを楽しみにしています。

②神戸市発行の「子どもたちへのメッセージ集」

点訳、校正、点字印刷、そして冊子になるまで多くのメンバーが携わっています。

③11月の交流会用点字プログラム作成

リスナーさんのご要望にお応えしております。

点字班メンバーは期日が限られた、これらの活動、作業にそれぞれのグループでの活動とともに取り組んでいます。

以上は、秋の恒例活動になっています。

学校講習や、作業に係わる事は、私にとっては大変勉強になっております。点字の一点一点の大切さ、重さを実感しながら点字班活動を通じて少しでも出来ればと思っています。

岡田悦子



リスナーお便りコーナー

上岡 眞寛さん

いつもありがとうございます
住所の番地のみ変わりました
よろしくお願いします

島貫 信子さん

スタッフの皆様ありがとう
よこたホーム しまぬき

井上 至雄さん

声のアルバム感謝。最後に調べましたら、録音は15ギガ、恐ろしく大きな内容にびっくりしてしまいました。お骨折り御苦労本当にお礼申し上げます。国際列車 トルコ～イランへの途中の山岳地帯に大きな湖、地図を見ずに過ごしてきたのでその無知がいまたたっています
「蝶々」作曲はジャンラックルリーだと聞いていました本当かなと思いました。

香山 芳樹さん

「あじさい」をはじめ色々な情報ありがとうございます。始めから終わりまで聞いています。
色々なお話を伺うことは大変勉強になります。「あじさい」のような障害者関係や医療関係その他生活情報などこれからもよろしくお願いします。

・・・・・・・・・・・・・・・・

日赤声のアルバムありがとうございます。この度も楽しいお話ありがとうございました。酷暑が終わり涼しくなりホッとしています。浜田ひろ助童話集やアラビア地方の子供向けに書かれた不思議な話、録音図書になるよう希望します

松本 民雄さん

花時計 7月号へ

何時も楽しい情報を聞かせていただきましてありがとうございます。「ふるさとの駅アナベスト」というCDを購入しました。

(松本さん自身の体験から駅のアナウンスの特徴を色々説明して下さい)

花時計 8月号へ

ご自身のお盆の体験を書き送って下さいました

花時計 9月号へ

このところテープを聞いて不満に思うことがあります。全てのテープ雑誌に言えることですが、お便り紹介コーナーがあまりにも短すぎだと思います。もう少しお便り紹介コーナーのあり方を考えてほしいです



花時計



8月号 「神戸YWCA」

A面

- 1番 朗読劇オーヘンリー作「改心」
2番 新しい単行本テープのご案内

B面

- 3番 近藤富士子さんのカタル便り
4番 こんな本はいかがでしょう
5番 プレクストーク講習会ご案内

11月号 「ともしび」

- A面 1 インタビュー赤十字120周年を迎えて

- B面 2 イギリススコットランド湖水地方の旅

- 3 後藤圭子著「私が素直になれる時」
いのちの言葉で綴る一行詩より
4 エッセイ「ごまかし力」立川談四郎
5 新しい単行本テープのご案内
6 リスナーからのおたより

9月号 「こすもす」

- A面 1 朗読劇 「ふたりぼっち」

- 2 「ホット サケ」
3 暮らしの手帳 素敵なあなたにより
「コーティングサラダ」

- 4 野の花だより 365日より「葛」

- B面 5 河合和子の旅だより

- 「クロアチアの街ドブロヴニクを訪ねて」
6 うたの旅人「小さい秋見つけた」
7 新しい単行テープとデージー図書のご案内
8 交流会のお知らせとお便りコーナー

12月号 「ことばの花束」

- A面 1番 小さな旅

- 2番 視覚障害者の為のバリアフリー
上映会

- 3番 尼崎と近松門左衛門

- 4番 新しい単行図書とデージー単行
図書のご紹介、及び貸出のご案内

- B面 5番 口笛で笑顔と勇気を

口笛奏者 小西 智さん

- 6番 朗読 「くまとやまねこ」

湯本香樹実（ゆもとかずみ）作

- 7番 リスナーのお便りとお知らせ

10月号 「あかりの会」

- A面 1 インタビュー「ハイチ派遣体験談」

- 2 NHK ハート展

- B面 3 朗読 棕 鳩十「ははぐまこぐま」

- 4 季節とくらす365日10月分抜粋

- 5 リスナーお便り紹介

- 6 交流会お知らせ

- 7 単行テープ紹介「NHK今日の健康」

花時計 2011年度担当表

1月	神戸YWCA	7月	神戸YWCA
2月	こすもす	8月	こすもす
3月	あかりの会	9月	あかりの会
4月	ともしび	10月	ともしび
5月	ことばの花束	11月	ことばの花束
6月	はあもにい	12月	はあもにい